

## (臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科に、前置胎盤、あるいは、赤ちゃんが超早産でお生まれになった方で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

子宮底部横切開創の癒合状況の評価に関する観察研究

### 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科 部長 中後 聡

### 3. 研究の目的

子宮底部横切開法は、前置胎盤の安全な帝王切開法であり、超早産においても有効な手術法です。この手術の最大の問題は、「次の妊娠中の子宮破裂の情報が全く無い」ことです。この研究では、前置胎盤ならびに超早産に対する子宮底部横切開の創傷治癒状況を、後方視的に観察し、次の妊娠中の子宮破裂のリスクを評価します

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

前置胎盤および超早産の患者さんで、西暦 2012 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日までの期間中に、子宮底部横切開の手術を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、カルテに記載された患者様の病歴や助産録の内容、超音波検査やMRI 検査画像、術中写真を含む手術記録、に関する情報です。

#### (3) 方法

子宮底部横切開を実施された症例で、以下の項目を評価します。

##### (1) 術後 1 年目の MRI による帝切創癒合状況

T2 強調像での創部の厚み  
造影像での血流の程度

##### (2) 次の妊娠が成立した場合、帝切時の子宮底部切開創

目視による子宮創部の凹みの有無  
触診による子宮創部の凹みの具合

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科 担当医師 中後 聡

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : satoshin@ajk.takatsuki-hp.or.jp